

わが街(文化)を語る

旅は、人だと思う。人との出会いが、その土地を自分にとってとくべつなものにする。地球儀をまわしながら、地球のうえで自分にとってとくべつな土地が、そこだけぼっと明るむのを感じる。そこには必ず人の記憶が伴っている。

(「まほら」特別寄稿：上野千鶴子氏「旅は人の記憶」より)

まさに、旅の記憶に残るものは、人との出会いですね。景観にしても、文化財にしても、そこには必ず人が介在します。人間の営みの中でこそ文化が発展します。ですから、旅において出会う驚きや感動は、その地で住み守り続けた地域文化と接したときに起こります。

今、各地の誘致活動が展開されていますが、往々にして、文化財の羅列や何処でもできる体験活動の紹介が中心となってしまいます。そこには、その地でしか生まれないであろう訪問者の経験したことのない人間の営みや守り育ててきた知恵がおろそかになっています。ワクワク・ドキドキ心をときめかす旅は、そこからは生まれません。当然、リピーターは望めません。地域の活性化は、住民の街(文化)を愛する心の活性化から始まるでしょう。この街・文化へのこだわりは、その人でなければわかりません。

旅において、このような地域文化へのこだわりが語られるとき、訪れる人の心に共感・共鳴が生まれます。そして、訪問者は、地域文化のにおいを胸いっぱい吸い込んで、体験が感動へと昇華していきます。

是非、あなたの心を語ってください。これが誘致活動のポイントになります。

全体テーマ：訪れる人の心に伝えたいわが街(わが文化)の心のスポット

心のスポット(景観でも、文化財でも、歴史でも、産業でも、食品でも、施設でも、どんな内容でもかまいません。すべてが、子供たちに伝えたい、あなたの誇るべき心の居場所となります)

あなたの街(文化)へのあなたの熱い思いを発信してください。

いただいた文は、当協会のホームページに記載し、多くの方々に読んでいただきます。